

8 木簡の釈文・内容

(1) 〔 〕 〔 〕

・「 〔 〕 」

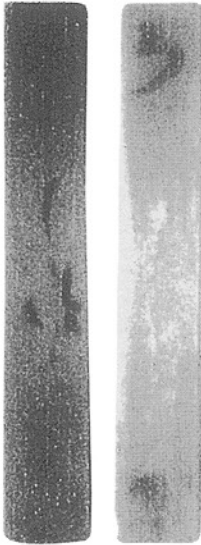
86.2×14.1×3.2 065

板目材の木製品で、四周はいずれも概ね原形をとどめている。墨痕は両面に見られるが、いずれも釈読できない。用途は不明であるが、表面の墨痕が上下両端にのみ確認できることから、關茶札の可能性が高いと考えられる。

9 関係文献

青森県教育委員会『十三湊遺跡』第IV分冊（青森県埋蔵文化財調査報告書三九八、二〇〇五年）

（鈴木和子）



文化財写真に携わる人の必携マニュアル

『埋文写真研究』一七号

埋蔵文化財写真技術研究会編

巻頭言

文化財写真の本質―オヤジたちのまじめな精神論

佐川 正敏

埋蔵文化財記録としてのデジタルカメラ運用について
深澤芳樹・牛嶋 茂・井本 昭

白いバックで白い物を撮る

玉内 公一

手ブレの実験

菊池 慈人

画像解像度を理解する

青島 啓

追悼 田辺昭三先生

宮内 康広

他

在庫状況のお知らせ

頒価 一号～五号 品切れ、六号～八号 三五〇〇円

九号 三〇〇〇円 一〇号～一七号 三五〇〇円

送料 一冊～四冊 五〇〇円

五冊～一〇冊 一〇〇〇円 一一冊以上 無料

ご注文は、埋蔵文化財写真技術研究会まで直接お申し込みください。ご送金は郵便振替でお願いします。

宛先 〒六三〇―八五七七 奈良市二条町二丁目九番一号

奈良文化財研究所気付 埋蔵文化財写真技術研究会

電話 〇七四二―三〇―六八三八

郵便振替 口座番号 〇一〇五〇―九―九九三〇

埋蔵文化財写真技術研究会

ホームページ <http://www.maishaken.jp/>